



8月9日に「平和集会」をおこないました

8月9日、本校では平和集会を行いました。集会では、1年生と3年生がこれまで取り組んできた平和学習の成果を発表し、平和について学んだことや感じたことを全校生徒に伝えました。その後、「永遠の会」の皆様による被爆体験記の朗読が行われ、被爆者の方々の体験や思いに触れることで、原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さについて改めて深く考える機会となりました。

また、小江原中学校平和宣言の採択を行うことで平和への願いを全校で共有し、午前11時2分には全員で黙祷を捧げ、原爆により尊い命を失われた方々に哀悼の意を表しました。

被爆地・長崎に住む私たちだからこそ、平和の大切さや原爆の恐ろしさ、そして戦争の悲惨さを次の世代へ語り継いでいく責任があります。今回の平和集会を通して、一人一人が平和について真剣に考え、自分にできることを実践していこうとする意思を改めて強くすることができました。

令和8年度「小江原中学校平和宣言」

1945年（昭和20年）8月9日、午前11時2分。たった一発の原子爆弾によって、長崎の町並みは一瞬にして全て焼き尽くされ、多くの人々が亡くなり、傷つきました。

今日で、あの日から81年。今、長崎は、緑豊かで活気ある町に発展しました。

あの惨劇を二度とくり返さないよう、長崎ではもちろんのこと、さまざまな場所で、世界平和に向けていろいろな取組が行われています。

しかし、その一方で、世界には今でも約9700発以上もの核兵器が存在し、紛争は未だ各地で続いています。核兵器廃絶と世界平和への道のりは、長く険しいものとなっています。

核兵器や紛争だけではありません。人が人を傷つけたり、命を奪われたりする悲惨なニュースが、連日のように報道されています。

このような現状は、平和と言えるでしょうか。私たちは、何をすべきでしょうか。

それは、私たちが、命の尊さや平和の大切さを深く学び、次の世代に伝えていくことではないでしょうか。今ここにいる私たち一人一人が、自分から命の大切さや核兵器の恐ろしさを語り継いでいかなければなりません。そして、核兵器・戦争・テロのない平和な世界が永遠に続くよう、助け合う心、思いやりの心を持ち続けて、これからの時代を歩んでいきましょう。

私たち小江原中学校は、三つのことを宣言します。

ひとつ いじめや差別を許さず、すべての人に平等に接します。

ひとつ 笑顔と思いやりを大切に、相手の気持ちを考えた行動をとります。

ひとつ 平和について学び、より多くの人に知ってもらえるような活動を行います。

この三つを基に行動し、小江原中学校から笑顔溢れる平和な世界を築いていくことを、ここに宣言します。

「県中総体」「県吹奏楽コンクール」大きな感動をありがとう！

〇ラグビー部 優勝

〇ソフトテニス部 女子団体 第3位

女子個人 花川、前田ペア 優勝（九州大会出場） 葛嶋、池田ペア ベスト8 惜敗

〇吹奏楽部 銀賞